

2024 年度 叡啓大学秋季入学式学長祝辞

皆さん入学おめでとうございます。COVID19 対応の規制も緩和され、昨年に引き続き皆さんをこのように直接お迎えできることを大変うれしく思います。今年は、バングラデシュ、ボツワナ、コロンビア、インド、インドネシア、ミャンマー、ネパール、ナイジェリア、パキスタン、フィリピン、タンザニア、ベトナム、そして日本から 23 名の国際学生が加わることとなります。皆さんはそれぞれ異なる自然、文化と歴史の中で育ち、教育を受けてきました。これからは、この山と海に囲まれた広島の地で今までとは異なる文化と歴史の中で新しい一歩を踏み出すこととなります。

「Cut the suits fit the body」という言葉があります。体に合わせて服を裁つという意味です。当たり前と感じられるかもしれませんが、しかし私達は、それぞれ育った環境や歴史に育まれた習慣や考え方の規範を知らず知らずに身につけています。体に合わせて服を裁つのではなく、皆さんの体を規制の服に合わせているのではないのでしょうか。いわば「Cut the body fit the suit」です。これからの叡啓大学での学びは、まず皆さんを縛っている規範や規制を知り、自分の体に合った服を裁つことを助けます。皆さんにはこれから自分が活躍したい社会のシステムを俯瞰的に見る力を身につけ、自分の将来の形に合う姿を描き、自らリーダーとなって新しい社会システムを先導するようになってほしい。

ウクライナやイスラエルをめぐる情勢に大きな変化がない中で、2024 年は多くの国で指導者の選挙が行われ、国際政治の先行きも益々不透明になってきています。私達の生活基盤である経済の仕組みも変化しつつあります。自動車や電気製品は直接私達の生活を豊かにしてきましたが、現在はそれらの製品が提供する何かが私達の生活を豊かにする主体になっています。知識基盤社会と言われる中で日本では工業化社会、情報化社会に続く Society5.0 という新たな社会を目指しています。新しい社会の社会的価値が経済的価値を生み出す時代になっています。これからの時代を先導していくコンピテンシーを身につけた皆さんは新しい社会の社会的価値そのものになるのです。

日本は美しい国です。中でも広島は山川に加えて海も近く、特に美しい自然に恵まれています。皆さんが叡啓大学を選択したのは正しい判断だと思えるよう、この地で新しい友人と出会い、互いに切磋琢磨しつつ自らの夢を育て、それを実現していく力を身につけて欲しい。私達教職員は最大限のサポートをします。学業に励むことは重要ですが、新しい地で新しい友人を得て多くの新しい経験をすることも重要です。これからの学生生活の中で皆さんが大きく成長することを期待しています。

2024年9月27日

叡啓大学学長

有信 睦弘